



## 人を均す技術

学生相談室員 松浦 真衣子



教育学部に所属していた学生Aは、ある日、大学院の恩師に山奥の療養所に連れて行かれました。そこには言葉の出ない重度障がいの青年がいました。青年はひどいストレスで胃潰瘍を患っていましたが、何がストレスなのか全くわかりません。そこで、恩師は学生Aに「コンピューターの力で彼が話せるようにしろ」と依頼しました。

学生Aはどうしていいかわからず、まずは「あ」など一言声を出せば球が打てる野球ゲームを作って、青年といっしょに遊んだそうです。すると青年はゲームに夢中になり、それまで患っていた胃潰瘍が治ってしまいました。病気が治っても青年はゲームをやめようとしません。そこで学生Aは「なぜそんなにこのゲームをしたいのか？」と尋ねました。青年は「このゲームをしているときは、言葉の話せるおまえと対等だからだ」と答えました。その時、学生Aは「技術は人を均す」ということを実感しました。そして、どんなにお金をかけたとしても、障がいを持つ人々を技術の力で対等にしていこうと決意しました。

学生Aは今でも「人を均す」ための研究をしています。実はこれは、東京大学先端科学技術研究センターの中邑賢龍教授が、昨年行われた講演でお話してくれた内容です。もちろん学生Aは中邑教授です。中邑教授の現在の研究は、能力はあるのに読み書きができない、人づきあいができないなど、何かしらの不得意があり、現代社会に不応を起こしてしまった人々のバリア(障害)を、アルテク(身の回りにあるテクノロジー)で打ち破っていくというものです。

かつて学生Aが作った野球ゲームはどんどん大きくなり、中邑教授は不登校の子供を集めて自由な教育を行う「異才発掘プロジェクト」を立ち上げています。世間では「変わっている」とされる子供の個性を伸ばし、新たな発想力を育てていくプロジェクトです。

高専生のみなさんも学生Aのように技術者の卵です。みなさんの技術は何のための技術になるのでしょうか。壁に突き当たってしまった時、技術者を目指したきっかけをじっくりと思い出してみてください。

学生相談室長専用電話 090-4330-4061 E-mail:sodan.kochi2012@docomo.ne.jp

あなたの困りごと(対応に苦慮する問題)や心配ごと(心の中にたまった不満や不安)を聞かせてください。あなたの立場で、どうしたらよいかを一緒に考えていきましょう。相談内容については、相談者本人の了解なしに他の人に漏れたりすることは絶対にありませんので安心してください。(相談室長)

## 「落ちこぼれる」という選択

学生相談室員 高田 拓



小学校・中学校から、高校や高専、大学に進んでいくにつれて、皆さんはいくつかの集団に属してきたと思います。当然、1つの集団では、何かができる人と何かができな人がいます。つまり、どんな集団であっても、落ちこぼれる人がいるということです。では、どうするべきでしょうか？実際には、答えなどはありませんが、日頃感じていることを書かせてもらいます。

昔、中学校の先生から、進路の時期に「鶏口牛後(むしろ鶏口となるとも、牛後となることなかれ)」という中国の故事成語を示してもらいました。そのまま読むと、鶏(にわとり)の口、牛の後と読めます。大きな牛の尻(後ろ)ではなく、小さい鶏でもいいので嘴(くちばし)にいなさいという意味です。これは1つの生き方ですし、そのメリットは言うまでもないでしょう。ただし、餌を貪欲に探しに行かない鶏は、やせ細っていくこともあるでしょう。

一方で、例えば、ハーバード大学というアメリカの超一流の大学でも、落ちこぼれる人はいます。大学に入る前は、別の所でトップを走っていた人が落ちこぼれるのですから、本人にとっては過酷な環境かもしれません。ただし、卒業して社会に出ると、ハーバード大卒ということで、周囲から期待もされるし、周囲より素晴らしい実績を残している人は多くいます。できないなりに、頑張っけて続けていくことで、身につく力もあるでしょう。

また、高専や大学などでの評価は1つの尺度ですが、社会で成功するためには、他にも多くの力が必要です。勉学と並行して、自分の特別な力を充実させておくことは、将来の自分の選択肢を増やすことになるでしょう。特に、近年は、日本でもそれらの力がより求められるようになっている気がします。

ぜひ自分の立ち位置をしっかりと認識して、将来のことを頭の片隅に入れた上で、個人にあった充実した学生生活を送ってほしいと思います。



## ～ 平成28年度 学生相談室 当番表(後期) ～

	月	火	水	木	金
昼休み	山崎(慎) 12:10～12:40	三嶋 12:10～12:40	洲脇 SW 12:00～17:00	山崎(慎) 12:10～12:40	洲脇 SW 12:00～17:00
放課後	近藤 SC 15:00～17:00	ピアサポ-ター 16:30～18:30		野並 SC 15:00～19:00	

渋谷先生又は光畑先生への相談(月1回)は保健室で事前予約が必要です。(渋谷先生:第3金曜 15:30～17:30、光畑先生:第2火曜 15:00～18:00) 相談室員の先生は研究室でも相談に応じてくれます。

